

# 当面する諸案件を報告

## 大網白里市議会第4回定例会 市長事務報告

12月3日から23日まで、市議会第4回定例会が開催されました。開会日に市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

### 財政

令和2年度の財政状況ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、歳入の根幹である税収は、当初予算額を確保できるものの前年度実績を下回る見通しである一方、歳出では、大網病院の収益悪化に伴い、一般会計からの繰入金が増加が見込まれ、収支全体では一段と厳しさを増しています。

このため、12月補正予算では、追加の新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の全額を県からの補助金で賄うほか、その他の事業も可能な限り国や県の補助金を活用し、財源の確保を図りました。

令和3年度の予算編成では、策定作業を進めている次期総合計画が初年度を迎えることから、計画が円滑にスタートできるように、緊急性や優先度に配慮しながら、計画的に諸施策を推進していくことが求められています。

しかし、歳入は新型コロナウイルス感染症による景気や雇用環境の悪化などから、市税の減収が見込まれる一方、歳出は、社会保障関係費や会計年度任用職員に係る人件費の増加のほか、病院事業会計への多額の繰入金が見込まれ、本年度にも増して厳しい状況になることが予想されます。

このため、令和3年度の予算編成は、現在の厳しい財政状況を踏まえ、全庁一丸となつて歳入・歳出にわたる徹底した見直しを実施するとともに、新規事業は原則として実施を見送り、真に必要な事業を厳選するほか、本年3月に策定した「財政健全化に向けた緊急的な取組み」を着実に実施することにより、持続可能な財政運営を目指します。

なお、人件費の削減については、これまで職員団体との協議を重ねてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による業務量の増加や職員の精神的負担の増大などを考慮し、本年度は給与のカットや手当の引き下げは行わない

### 総合計画

令和3年度を初年度とする第6次総合計画は、総合計画審議会での議論や市民の皆様からいただいた意見・提案を踏まえながら、基本構想案・前期基本計画案の策定作業を進めてきましたが、基本構想案の策定が完了したことから、今議会に議案を提出しました。

前期基本計画案は、審議会での審議が最終段階に入っています。今後、議会での議論やパブリックコメントによる意見などを踏まえ、本年度内に策定します。

### 防災

昨年、県内各地に大きな被害をもたらした台風等の一連の災害を踏まえ、災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を構築するため、民間事業者との災害協定の締結を進めています。

9月28日には、段ボール製造業者であるセツカートン(株)と「段ボール製品の調達に関する協定」を、11月12日には、千葉三菱コルト自動車販売(株)・三菱自動車工業(株)と「電動車両等の支援に関する協定」を、11月18日には、NPO法人コメリ災害対策センターと「物資供給に関する協定」をそれぞれ締結しました。

また、大網病院でも、災害時における水の確保に向け、山武郡市広域水道企業団と「上水の供給に関する協定」を締結しました。



▲大網白里市第6次総合計画の答申手交式

## 令和2年度 千葉県学校体育優良校・功労者

- ▶千葉県学校体育優良校  
大網中学校  
白里小学校
- ▶千葉県学校体育功労者  
山本 良雄氏  
(白里中学校長)

**叙 勲**  
◆高齢者叙勲  
▶瑞宝双光章  
〈教育功労〉  
内山 和氏

### 公共交通

市内の公共交通空白地域を

解消するため、増穂地区と白里地区で運行しているコミュニティバスは、いずれも令和3年内に運行期間が満了します。このうち、3月末に期間満了となる増穂地区のコミュニティバスについては、11月16日に公募型プロポーザルを実施し、次期運行候補者として「千葉中央バス(株)」を選定しました。

9月末に運行期間が満了する白里地区コミュニティバス、通称「はまバス」については、市街地ルートの新設により、平均乗車人数は増加していますが、依然として目標の乗車人数には達していないのが現状です。こうした状況を踏まえ、高齢者の移動手段の確保や費用対効果などの課題を勘案した上で、白里地区の公共交通のあり方や方向性について、改めて地域公共交通活性化協議会で議論をいただきました。



▲はまバス

### 企業誘致

本市では、企業誘致条例を改正するとともに、「市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準」を制定し、市を挙げてJRR大網駅周辺および国道128号沿道における商業施設等の誘致に取り組んでいるところです。こうした取り組みが功を奏し、企業誘致条例に規定する

奨励措置適用事業所の指定第1号、土地利用方針および地区計画運用基準の適用第1号となる(株)コメリのホームセンターが、11月19日、国道128号沿道にオープンしました。これを契機として、今後も、大網駅周辺や国道128号沿道へ商業施設等の誘致を促進することにより、市内産業の活性化や雇用の確保、税収増につなげます。

### 福祉・健康づくり

令和3年度を初年度とする「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」は、昨年度実施したアンケートの結果のほか、国から示された基本指針、本市における障がい福祉サービスの利用実績等を踏まえ、計画案の作成を進めているところです。

障がいのある方の日常生活を地域全体で支える仕組みの構築に向け、「障がい者計画等策定懇談会」でいただいた意見や、今後実施するパブリックコメントによる市民の皆様からの意見を参考にしながら、年度内の策定に向け取り組みます。

ひとり親家庭などへの医療費等の助成は、11月1日以降、これまでの償還払い方式から医療機関で自己負担額のみを支払う現物給付方式へと変更されたことに伴い、対象者442人に対して受給券を発送しました。

また、市では、10月26日、食生活や熱中症対策などの分野で普及啓発に取り組んでいる大塚製菓(株)と「市民の健康増進等に関する連携協定」を締結しました。

### 駅周辺整備

大網駅東土地地区画整理事業は、残る建物1棟の地権者との移転協議が整わなかったことから、10月14日に土地区画整理法の規定による直接施行に着手し、11月26日に建築物等の除却を終了しました。

当該地権者からは、現在、仮換地指定処分の取り消しを求め行政事件訴訟が千葉地方裁判所に提起されており、11月13日に第1回口頭弁論が行われました。本件訴訟について、担当弁護士と緊密に連携を図りながら、遺漏の無いよう対応するとともに、年度内には当該箇所の造成工事が完了するよう、鋭意努力します。

### 白里海岸公園

白里海岸公園は、利用者の減少や施設の老朽化が著しいことから、公園の全体面積の2割に相当する5つの公園を廃止する方針案を取りまとめ、9月30日に地元地区代表の方々と意見交換を行いました。この意見交換の場では、地元の方々から「さらに多くの公園を廃止・集約し、残存する公園の機能の充実を図ってはどうか」といった意見や、「景観や防砂対策として公園内に植栽されている松林の保全を図ってもらいたい」などの要望をいただいたことから、現在、方針案の再検討を行っています。

### 大網病院

本年度上半期における大網病院の医療収益は、前年同期と比較し、入院収益が▲1.2%となる710万3千円の減、外来収益は▲14.3%となる6,528万2千円の減、全体で7,238万5千円の減となる大変厳しい経営状況が続いています。

特に外来収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が大きく減少し、収益悪化は避けられない見通しです。

現在の感染状況の中では、今後も厳しい経営状況が続くことが予想されますが、病床稼働率の向上などにより収益増を図り、一層の経営改善に努めます。

### 教育

本市では、平成28年度に策定した「教育大綱」を市の教

育・文化の根幹に位置付け、各種施策を推進してきましたが、本年度末をもって教育大綱の対象期間が満了となることから、次期大綱の策定に向け準備を進めています。